

コード	504030102
記入日	H21.6.1

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	中山利朗

事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	オペラ「忘れられた少年」公演事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	5
基本事業コード	50403	基本事業名称	芸術・文化事業の支援	目コード	1
事務事業コード	5040301	事務事業名称	文化活動への支援事業	細目コード	
関連計画			法令・条例規則等		

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民			(対象指標1) 24,299人(H20.4.1)				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		4ヶ月の練習を経て、公演を実施した。地元出演者数58名。公演入場者数831名。	***	***	***	出演者数÷出演者計画数=58人÷60人	***
			①	出演者数	58人	97%	人
			(達成率分析)	ほぼ計画通りの地元出演者を確保できた。			
			②				
			(達成率分析)				
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			***	***	***	入場者数831人÷入場目標数551人	***
			①	入場者数	831人	150%	平成20年度
住民参加型のオペラ公演を実施することにより、文化活動をする側、見る側両方の文化水準を高めることを目的とする。			(達成率分析)	目標人数より、多数の入場者があったことは、住民のニーズをとらえていたと思われる。			
			②				
			(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。						
	単位	全体計画 H 20 ~ H 20		平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	①	人	60	58	60	58
	②					
成果指標	①	人	551	831	551	831
	②					
総事業費C(A+B)	千円		3,700	3,955	3,700	3,955
直接事業費A	千円		3,000	3,255	3,000	3,255
人件費B	千円		700	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	1,047	762	1,047	762
	起債	千円				
	その他	千円	811	1,731	811	1,731
一般財源	千円	1,842	1,462		1,842	1,462

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 小学生から大人まで地元住民の出演を支援するうえで必要であった。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 オペラの題材が「忘れられた少年」というキリスト教関連のものであったので、世界遺産登録運動を推進している今、機運を高めるためにも妥当であった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 地元住民の出演もあり、適切に行われた。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 入場者数は目標を超え、地元出演者も確保できたので、達成できた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 入場者もほぼ満席の状態だったので、経費の面でも余地はなかった。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 オペラ公演に地元住民が出演することは滅多にないことである。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 公演事業の契約先と交渉し、最小限の経費で実施した。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最小限の人員で取り組んだ。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 大人2,000円、子供1,000円の入場料は、他の公演と比較して、適正だったと考えられる。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 地元住民の参加が約58名あったが、中学生・高校生の参加が少なかったので、もっと広く周知する必要がある。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	オペラという芸術に住民が演出する側、そして鑑賞する側に立ち文化に親しむことができたと思う。今後もこのような参加型の文化振興を図っていくことは町民の文化意識の向上に有効である。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。